

第21回 広島湾研究集会

瀬戸内法の再改正と広島の水産業

2021年6月に瀬戸内海環境保全特別措置法（瀬戸内法）が再改正されました。瀬戸内海では貧栄養化が顕著なことから、水産資源の持続的な利用の確保のため、栄養塩については削減から管理へと方向転換されました。これに基づいて、府県を中心にきめ細やかな対策を考えていかななくてはなりません。本研究集会では、広島湾あるいは瀬戸内海の環境と水産の問題に取り組む研究者から話題提供いただき、今後の広島湾や瀬戸内海の環境、水産業について考える場とします。

日時

2022年
12月16日(金)
13:00～17:00

開催 ※オンライン参加もできます

広島大学ミライクリエ 大会議室

〒739-0046
東広島市鏡山1丁目4番5号

参加申し込み

以下のQRコードからお申し込みください。どなたでもご参加いただけます。なるべく12月2日までにお願いします。なお、会場での参加は先着50名様とさせていただきます。ご了承ください。



座長：高橋 暁（産総研地質情報）

1. 広島湾環境のジレンマ：貧栄養化と底泥に残る富栄養化の遺産

13:10～13:50 山本民次（流域圏環境再生セ）

2. 岸沖の視点で見た瀬戸内海の栄養塩環境の変化

13:50～14:20 梅原 亮（広島大学環境安全セ）

— 休憩 — 14:20～14:30

座長：柳川 建（広島総研水海技セ）

3. 栄養塩環境の変化と生態系の応答に関する国内外の知見

14:30～15:00 鬼塚 剛（水産機構技術研）

4. 栄養塩管理方策の検討と問題点

15:00～15:30 阿保勝之（水産機構技術研）

5. 瀬戸内海の水産資源の動向と今後の資源評価

15:30～16:00 河野悌昌（水産機構資源研）

— 休憩 — 16:00～16:10

総合討論 16:10～17:00

座長：山本民次（流域圏環境再生セ）

本研究集会は、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です。

共 催 広島大学大学院統合生命科学研究科
後 援 流域圏環境再生センター
コンビナー 富山 毅, 阿保勝之, 柳川 建, 高橋 暁, 山本民次
お問合せ 富山(とみやま) 電話 082-424-7941